

6. 事業内容

2年目は活動対象の2タウンシップにおいて、以下の2つの活動を行う。進捗状況は、当会スタッフによる週1回のモニタリング、建設状況チェックや指導、本部担当者によるモニタリングを通じて確認する。地域住民、PNO、ミャンマー政府国境省と協力し、事業に取り組む。（書面にて確約済）

【事業内容1：循環型農業技術の移転と農業環境整備】

活動1-1：循環型農業指導員の育成と循環型農業技術の移転(1~3年目)

① 循環型農業研修の実施(1~3年目)

研修の内容に応じて、短・中・長期の3種類の研修を行い、技術と知識の移転を行う。循環型農業は、自然資源の循環を大切にした農業で、土着菌堆肥や木酢液などを用いる有機農業である。環境保全型農業であり、農薬や化学肥料を使わないため土壌の汚染や劣化を引き起こさない、持続可能な農業である。農薬や化学肥料を用いないため、支出の削減と、生産した有機農産物は付加価値をつけて販売できるため、農家の生活の向上に有効な農業として導入を促す研修を行う。

(短期) 事業地の農家を対象に、上記農業指導員と当会講師による1~2日間の循環型農業研修を年12回実施する。本研修は、地域に広く循環型農業を知ってもらうための入門編と位置づけ、さらに学びたい人には中期・長期研修の受講を勧めることとする。循環型農業の基本である、農薬や化学肥料に頼らない、身近にある有機物を利用した堆肥やボカシ肥、忌避剤としての木酢液の作り方と使い方を実習を中心に指導する。実施はPNO及び各タウンシップの一般行政事務所(General administrative office)も協働で行い、参加者は地域の篤農家を中心に実際に農業を実践している人とし、公募する。また、営農に必要な農業簿記研修も行う。フォローアップは、半年に1度フィールドコーディネーターを中心に行い、技術的に再度指導が必要な場合は、農業指導員が個別指導、もしくはグループ指導を実施する。

(中期) 事業地の農家を対象に、当会講師による7日間の循環型農業研修を年6回行う。循環型農業の導入に意欲のある篤農家を対象とし、短期に加え、より詳しい技術を学び、地域のモデル農家となることを目指す。

フォローアップに関しては、短期研修と同じ方法で実施。

(長期) 事業地の農家と農村の青年を対象に3ヶ月の研修を年1回実施する。収入向上の手段として畜産業、キノコ栽培、食品加工などの研修も含める。研修受講者は、村に帰って研修技術を住民に研修し、普及することを目指す。

フォローアップに関しては、短期研修と同じ方法で実施。その他に、1年に1回リフレッシュ研修を行い、経験を通じて得た知識交換や、村で実施した研修の情報共有を行う。

種別	開催場所	対象	対象人数(人)			合計(人)
			1年	2年	3年	
指導者育成研修	TPA ナンカ村落開発センター	対象地域の循環型農業実践農家	5	0	0	5
短期研修(農業)	シーサイン	農家	100	200	200	500
	ピンラウン	農家	100	200	200	500
短期研修(農業簿記)	シーサイン、ピンラウン	農家	100	200	200	500

中期研修	TPA ナンカ村落 開発センター	農家	70	70	70	210
長期研修	TPA ナンカ村落 開発センター	農村青年	10	10	10	30
		合計	385	680	680	1595

※各年度のそれぞれの研修は対象者の重複はなし(年度ごとに新規の参加者)とするが、短期研修を受けてさらに深く学びたいという理由で中期、長期を受講することはできることとする。研修参加者のフォローアップは、各地域の指導員が行う。

活動 1-2：シーサイン地域での農業用水の整備(2年目)

①シーサイン地域の飲料水・生活用水の給水設備整備後、余剰の水を農業用水として活用するために全長 1.6 マイル(約 2.57 km)の農業用水路と貯水のための堰を整備する。

- ・農業用水路の整備：全長 1.6 マイルの農業用水路の整備をする。農業用水路は北水路と南水路の 2 つに分かれ、北水路が全長 2,526 フィート(約 0.8 km)、南水路が 5,933 フィート(約 1.8 km)である。

用水路は水力発電に使用する径の大きい鉄パイプとし、農業用水にゴミが混ざるのを防ぐ。

- ・堰の整備：全長 375 フィート(約 114m)の堤を整備、本事業 1 年目で整備した水源からの飲料水配水の余剰分を貯水できるようにする。

- ・これまで水源から水路を通して公共の貯水池に行く途中の水を使う形で設置されていた公衆浴場を、上記堰の横に併設する形で設置する。

②上記農業用水設備の維持管理体制を整備する。

- ・当会と維持管理委員会(各村・区の代表者によって構成)が協力し、維持管理基金(詳細は下記(4)持続発展性に記載)の徴収計画を策定する。

- ・維持管理委員会主導で実施する事業終了後の施設の管理や見回り体制の計画を策定する。

- ・維持管理方法、水使用のルール作成、村落群で平和に多くの住民に使われるよう組織の整備づくりを実施する。なお、住民間に不平等が出ない持続可能なシステムとなるようにする。

【事業内容 2：飲料水・生活用水の配水と保健衛生研修】

活動 2-1：地域住民への保健衛生の啓発活動(1年目～3年目)

- ・対象 2 地域において、児童、生徒など子供も含む地域住民に対して基礎的な保健衛生知識の研修を行う。シーサイン、ピンラウンそれぞれ 10 会場(2, 3 年目各 5 回ずつ)にて開催する。
- ・当会と維持管理委員会と協働で住民の実践と定着を促すためにフォローアップを行う。

種別	場所	対象	対象人数(人)			合計(人)
			1年	2年	3年	
保健衛生研修	シーサイン	児童、生徒、地域住民	1,000	0	0	1,000
	ピンラウン	児童、生徒、地域住民	0	500	500	1,000

上記事業内容は、「持続可能な開発目標(SDGs)」の中で以下の項目に十分該当する。

	<p>【事業内容 1】 目標 2 : 2.3、2.4、2. a 【事業内容 2】 目標 6 : 6. b</p>
<p>7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など</p>	<p>①これまでの事業における成果（実施した事業内容とその具体的成果） 事業内容 1：循環型農業技術の移転と農業環境整備 対象地域内で既に循環型農業を実践している農民 5 名が当会実施の研修に参加し、農業指導員として村落で指導できるスキルを身につけることができた。そのため、農業指導員がさらに村落で循環型農業の指導を行い(短期研修の実施)、広く多くの人々に農業技術の普及ができた。また、当会ナウンカセンターで実施した中期研修では、短期研修で興味を持った農民がさらに詳しい技術を学ぶために参加し、より深い技術を学んだ。長期研修は現在実施中で、半分の 1 か月半が経過したが、熱意のある若者が多く、研修終了後地域での技術普及に貢献する意欲も高いため、今後の広がりが期待できる。農業簿記に関しては、これまで全く記録なしで記憶だけを頼りにしていた状態から簡単な支出入の記録ができるようになり、利益の計算ができるようになった。</p> <p>事業内容 2：飲料水・生活用水の配水と保健衛生研修 シーサイン地域において、飲料水・生活用水配水のための給水設備を整備中である。現在整備中であるため、成果はまだ出ていないが、住民の期待は非常に大きい。 保健衛生研修に関しては当初の予定より多くの参加者があり、関心の高さが見られた。</p> <p>②これまでの事業を通じての課題・問題点 課題としては、循環型農業研修と保健衛生研修で指導したことを多くの人が実践するかどうかということである。 問題点は特になし。</p> <p>③上記②に対する今後の対応策 上記、実践者に関する課題であるが、スタッフを通じてこまめにフォローアップする。実践時に問題があった場合、農業指導員による再指導や、研修にもう一度参加するという方法を通じて技術を定着させていく。また、今後開催する予定のリフレッシャー研修に多くの農家が参加するよう呼びかけ、成功例、失敗例の共有をしていきたい。①これまでの事業における成果（実施した事業内容とその具体的成果）</p> <p>④「持続可能な開発目標（SDGs）」の該当目標の視点からの言及 上記、これまでの事業における成果「事業内容 1」は、SDGs の視点から見ると、目標 2、2.3 に言及される「高付加価値化による小規模食料生産者の農業所得を倍増させる」に貢献できた。また、「事業内容 2」は、目標 6、6.1 に言及される「すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。」及び 6. b「水と衛生の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。」に貢献できた。</p>
<p>8. 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>成果 1：住民による循環型農業の指導体制ができ、住民自身が指導できる。 (1-1) 育成された指導員によって短期農業研修及び農業簿記研修が実施される。(確認方法：研修受講者リスト)</p> <p>成果 2：地域農家の循環型農業の技術、知識が身につく、生産力が向上する。 (2-1) 研修受講者が 680 名以上になる。(確認方法：研修開催記録と研修受講者リスト) (2-2) 研修内容を実践し、技術向上がみられた農家数が 1、2 年目の研修受講者の 60%になる。(確認方法：研修受講者のフォローアップ調査結果) (2-3) 1 年目の循環型農業長期研修受講者が各居住村で地域住民に対して 5</p>

回以上研修を実施する。(確認方法：研修開催記録)

※成果1及び2は、循環型農業による成果物が販売できることによりSDGs目標2における2.3に言及される「高付加価値化」による所得の向上に貢献できる。

成果3：シーサイン地域において農業灌設備が整備され、年間を通じて農業ができ生産性が向上する。(2年目)

(3-1)シーサイン町とその周辺地域390エーカー(157ヘクタール)の農地で、毎年灌漑用水を利用できるようになる。(確認方法：農民への聞き取り調査)

(3-2)シーサイン町とその周辺地域390エーカーの農地で、年間を通じた作物栽培が可能になる(確認方法：農民への聞き取り調査)

※成果3は、目標2における2.4に言及される生産性の向上、生産量の増加、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力の向上に貢献できる。

成果4：地域住民が保健衛生知識を身につけ実践できている。

(4-1)ピンラウン地域での保健衛生研修の受講者数が延べ500名になる。(確認方法：研修受講者リスト)

(4-2)受講者の7割以上の住民が、簡単な衛生活動を実践できている。(確認方法：フォローアップ調査記録及びアンケート調査)

※成果4は、目標6における6.bに言及される水と衛生の管理向上における地域コミュニティの参加支援・強化に貢献できる。